



報道関係の方のお問い合わせ

- ◆ 発売日や価格は、4月25日時点のものです。各書籍のURLは、準備中の場合があります。
- ◆ 掲載書籍の表紙デザインは変わることがあります。
- ◆ 書評用の見本・装丁画像データのご依頼は、書名・御社名・媒体名・担当様名・ご住所・ご連絡先電話番号を明記の上、デジタルマーケティング室までメールまたはFAXをお送りください。
- ◆ 取材のお申し込みは、取材希望内容・御社名・媒体名・担当者様名・ご連絡先電話番号を明記の上、デジタルマーケティング室までメールまたはFAXをお送りください。取材内容により、担当者からご連絡申し上げます。

発行 小学館 マーケティング局 デジタルマーケティング室

〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋 2-3-1

☎ 03-3230-5355 FAX:03-3263-1900

mail:ad5347@shogakukan.co.jp

URL <https://www.shogakukan.co.jp> (小学館ホームページ)

<http://www.s-book.net> (書店様専用ホームページ)

著者・編集者出演のプロモーション動画、続々公開中！

全編語り下ろし。これぞ、ばあばの集大成。

幸せを呼ぶ人生レシピ
ばあば 92年目の隠し味
鈴木登紀子・著

入れ歯なし、補聴器なし、物忘れなし。生涯現役の料理研究家鈴木登紀子さん(92歳、通称・ばあば)の体を培ったのは、自らの家庭料理でした。本書では、1500超のレシピから40品を厳選。そのエッセンスを明かします。

解説はすべて最新語り下ろし。作り方だけでなく、その料理に秘められた思いが初めて明かされるものもあります。料理書でありながら、全編に、ばあばの人生が凝集されています。ばあばの言葉は滋味深く、温かみに満ちています。また、レシピ解説は日本料理の歴史や特長、行儀作法をも網羅しています。世界遺産でもある和食を、一から学べるテキストとしても役立ちます。92歳の美味礼賛。これぞ、ばあばの集大成にして決定版です。



5月17日発売
定価: 本体1,400円 + 税
四六判 / 224ページ
ISBN978-4-09-396540-8

◆鈴木登紀子(すずき・ときこ)

日本料理研究家。1924年、青森県八戸市生まれ。自宅で始めた料理教室をきっかけに、46歳のときに料理研究家としてデビュー。以来、料理教室を続けるかたわら、家庭料理にこだわった和食の心を、古来の美しい行儀作法とともに伝える。テレビ、雑誌など広く活躍。「きょうの料理」(NHK)への出演は40年を超える。

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09396540>

話すぬいぐるみと出版社校正男子の友情物語

さよなら、ムツシュ
片岡翔・著

小さな出版社で校正の仕事をしている森屋太郎は、幼いころ世界した作家で母の文字が残してくれたコアラのぬいぐるみを大事にしていた。

そのぬいぐるみは、母が亡くなったその日、しゃべりだし、以来、無二の親友になっていたのだ(もちろん、世間には内緒にして)。

そんなある日、しゃっくりがとまらなくなった星太郎に大きな転機が訪れる。



5月26日発売
定価: 本体1,300円 + 税
四六判 / 226ページ
ISBN978-4-09-386467-1

◆片岡 翔(かたおか・しょう)

1982年、北海道生まれ。2010年「くらげくん」が全国各地の映画祭で13冠を達成。'14年、映画「1/11 じゅういちぶんのいち」を監督。脚本家として「きいろいゾウ」など。本作が小説デビュー作となる。

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386467>

通貨と権力の150年史

人民元の興亡
毛沢東・鄧小平・習近平が見た夢
吉岡桂子・著

中国の通貨の種類は一時、千を超えたとも言われている。国内は、もとよりばらばら。列強の外貨は押し寄せる。もたもたしているうち、満州国のみならず、日本の「円」とつらなる通貨が攻め込んでくる。清朝末期から百年の通貨事情は、中国という国家が置かれていた状況と、まさにコインの表裏である。この時代に刻まれた記憶から、中国人の胸の奥底には、国が分裂の危機にさらされるのではないかとこの恐怖がある。とりわけ統治者には。

——まえがきより

毛沢東が統一の「象徴」として産み落とし、鄧小平が「改革開放」のために育み、習近平が「世界制覇」の足がかりとした。人民元の正史を辿りつつ、戦前、「反日通貨」としてばらまかれ、戦後、「円」の盛衰を反面教師にしてきた裏面史も明らかにする。

世界経済の主役に躍り出た紅い通貨。取材期間20年を経て、その秘史に分け入る。



5月26日発売
定価: 本体1,800円 + 税
四六判 / 400ページ
ISBN978-4-09-389771-6

◆吉岡桂子(よしおか・けいこ)

1964年、岡山県生まれ。岡山大学法学部卒業。山陽放送を経て、'89年に朝日新聞社に入社。和歌山、大阪、東京で取材したのち、対外経済貿易大学(北京)で中国語研修。2013年3月まで、計7年間にわたり中国(北京・上海)特派員。米・戦略国際問題研究所(CSIS)客員研究員('07年度)。朝日新聞編集委員として、'17年5月からバンコクを拠点に中国とアジアの取材を続ける。著書に「問答有用 中国改革派19人に聞く」(岩波書店、'13年)「愛国経済 中国のグローバル化」(朝日新聞出版、'08年)。

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09389771>

Now
Printing

5月18日発売
定価：[本体800円]+税
A4変/116ページ
ISBN978-4-09-103787-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09103787>

「Maybe! (メイビー)」Vol.3が登場! 男女問わず、ファッションだけでなく読み物として刺さる、新感覚ファッション&カルチャームックです。

SHOGAKUKAN SELECT MOOK
Maybe!
メイビー
Vol.3

特集は「教えて! 恋愛事情」



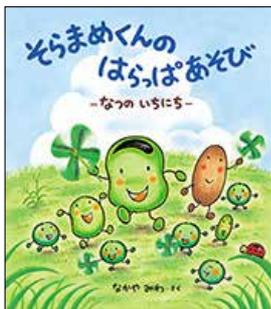
5月12日発売
定価：[本体1,200円]+税
四六判/192ページ
ISBN978-4-09-310857-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310857>

毛細血管だけが、細胞に栄養を送る血管。だから、細胞が元気に。見た目が若返り、冷感性改善、免疫力アップ。認知症を予防し健康長寿をサポート。著者は熊本震災時の救急・エコノミークラス症候群対策に尽力。5つのメソッドで、さらに熊本から健康を発信します。

エコノミークラス症候群の第一人者・
橋本洋一郎の5つのメソッド
毛細血管で細胞力は上がる
橋本洋一郎・著

毛細血管だけが、細胞にアプローチできる!



5月29日発売
定価：[本体1,200円]+税
AB5変/32ページ
ISBN978-4-09-726698-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09726698>

333万部突破の絵本「そらまめくん」シリーズ最新刊『そらまめくんの はらっぱあそび なつのいちにち』が発売! 2年ぶりの完全新作。「そらまめくん」の野遊び絵本です。

大人気絵本「そらまめくん」シリーズ最新刊
そらまめくんの はらっぱあそび
なつのいちにち
なかやみわ・著

大人気絵本「そらまめくん」シリーズ最新刊



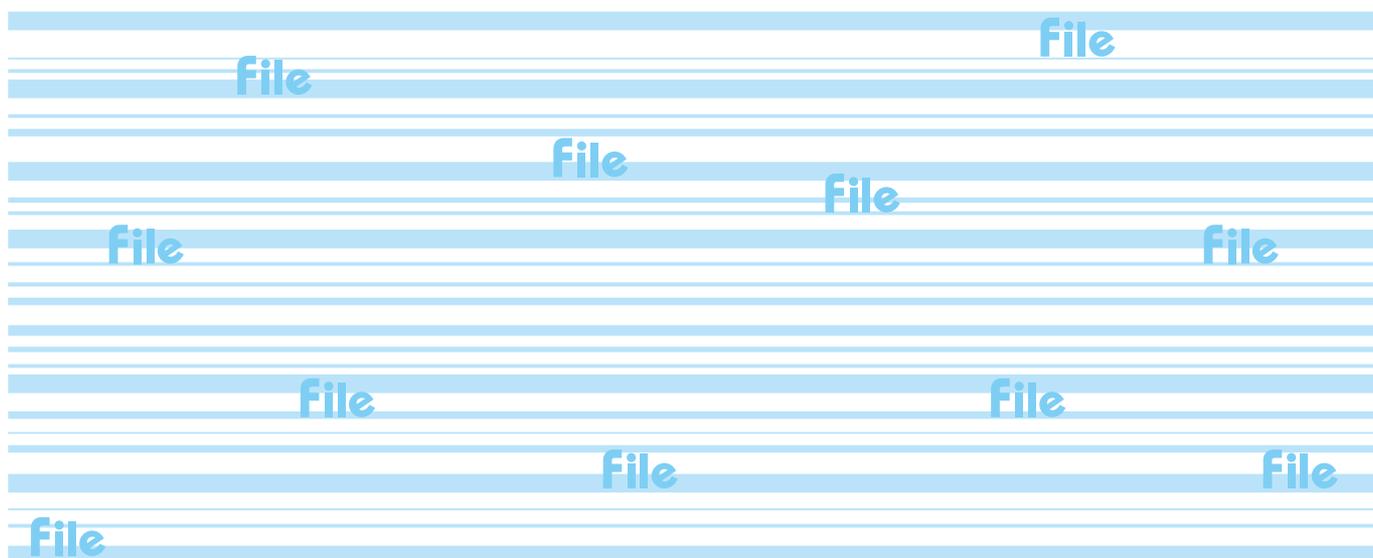
5月18日発売
定価：[本体1,400円]+税
B5判/116ページ
ISBN978-4-09-103789-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09103789>

フードアナリスト2級でもあるタレントの鈴木亜美さんが、妊娠中もかわいく健康でいられた一番の秘訣、お料理レシピを公開。65のメニューには栄養士さんの協力による栄養素リストがついています!

SHOGAKUKAN SELECT MOOK
Ami's Recipe Book
かわいい妊婦の安産レシピ
鈴木亜美・著

妊娠食育研究会のアドバイス付き!



小学館新書

東京都庁の深層
 柳ヶ瀬裕文・著

人口1300万、年間予算は13兆円に上り、一國に匹敵する規模を持つ東京都。しかし、都庁内の動きを見れば、抵抗勢力の前に屈してきた歴代知事、チエック機能の役割を果たしていない都議会、定年後の天下りで悠々自適の生活を自論む都庁職員……とお粗末、かつ、既得権益まみれの実態がある。期待が寄せられる小池百合子現知事もオリンピック会場の選定で都外の自治体を混乱させ、復活予算の廃止を表明しても結局は守旧派の利権を自らのものとしただけにすぎない。親小池派とも反小池派とも一線を画す現役都議が、数多の独自資料と自身の経験に基づき都政の闇をつまびらかにする。

◆柳ヶ瀬裕文(やながせひろふみ)

1974年、東京都生まれ。東京都議会議員。早稲田大学卒業。ジェイアール東日本企画(広告会社)勤務。参議院議員公設秘書を経て、2007年に大田区議会議員選挙に初当選。09年に、東京都議会議員選挙(大田区選挙区)に出馬し、当選。13年の都議会議員選挙で再選し、現在2期目。



5月17日発売
 定価: 本体760円 + 税
 新書判 / 192ページ
 ISBN978-4-09-825298-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825298>

いつだって、僕らは本と生きてきた。
 [P+D BOOKS] 今月のラインナップ

加田侗太郎作品集 福永武彦・著

純文学作家である福永武彦が加田侗太郎名義で発表した「完全犯罪」「失踪事件」などの探偵小説10編に、随筆・素人探偵誕生記と船田学名義で書かれた未完のSF作品「地球を遠く離れて」も併録した異色作品集。

定価: 本体650円 + 税 B6判 / 528ページ
 ISBN978-4-09-352301-1
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352301>

小説阿佐田哲也 色川武大・著

「奴とは、ばくち打ちであり、ばくち打ちの奥に至らんと五十年も過ごしてきたような、顔をしている人物である」。直木賞作家色川武大が、虚にして実、実にして虚の「阿佐田哲也」の素顔に迫った異色作。

定価: 本体550円 + 税 B6判 / 288ページ
 ISBN978-4-09-352302-8
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352302>

5月12日発売・配信(ペーパーバックとデジタルで同時、同価格)
<http://pdbooks.jp>



小学館文庫

落日の死影

船戸与一・著



◆船戸与一(ふなとよいち)
1944年、山口県生まれ。79年、非
合法員で作家デビュー。85年、山猫
の夏で吉川英治文学新人賞、日本
冒険小説協会大賞。2000年、虹の
谷の五月で直木賞受賞ほか受賞歴
多数。

5月9日発売
定価: 本体510円+税
文庫/224ページ
ISBN978-4-09-406155-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406155>

小学館文庫

ハガキ職人タカギ!

風カオル・著



◆風カオル(かぜかおる)
1981年、大分生まれ。本作で
第十五回小学館文庫小説賞を受賞。
2014年デビュー。新刊に「ラメ
ン」に「ヤンデリア」。

5月9日発売
定価: 本体500円+税
文庫/208ページ
ISBN978-4-09-406156-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406156>

小学館文庫

ちようかい 未犯調査室 3

仁木英之・著



◆仁木英之(にきひでゆき)
1973年、大阪府生まれ。2006
年、「僕先生で日本ファンタジーノ
ベル大賞を受賞しデビュー。同シリ
ーズのほか、「千里伝シリーズ」大坂
星将伝など多数の著作がある。

5月9日発売
定価: 本体610円+税
文庫/304ページ
ISBN978-4-09-406157-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406157>

小学館文庫

色いろ花骨牌

黒鉄ヒロシ・著



◆黒鉄ヒロシ(くろがねひろし)
1945年、高知県生まれ。主な作
品に、「新選組」坂本龍馬「赤兵衛」
「結作物語」幕末暗殺「千思万考」千
思万考「天の巻」新「信長記」本能寺
の変「ものふ日本論」など。

5月9日発売
定価: 本体600円+税
文庫/288ページ
ISBN978-4-09-406158-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406158>

冷戦時代、米ソは極秘に生物化学兵器を共同開発していた。「死霊の泉」と呼ばれたその物質は、きわめて高い殺傷能力を持ち、解毒方法もない。両国の元工作員は、この事実の隠蔽を画策。大量に貯蔵されているこの猛毒を証拠もろとも消し去るため、最高のプロフェッショナルを送り込んだ。直木賞作家・船戸与一が、劇画最高峰「ゴルゴ13」を描いた、最強のエンターテインメント! 作家デビュー前、脚本にたずさわった「ゴルゴ13」作品の中から、選りすぐりの3話をみずから小説化。稀代の名勝負と賞された本作のクライマックスを、ぜひ味わってください。

第15回小学館文庫賞小説受賞受賞作。イマドキのオタクにスポットを当てた新感覚青春ユーモア小説。広島県在住の高校二年生、高木正広は、筋金入りのラジオ番組のハガキ投稿オタク。今日もネタ帳とにらめっこ。クラスの女子は気味悪がって近寄ってこないが、そんなことは全く(全くでもないが...)気にならない。厳選したネタを、深夜のラジオ番組に投稿することが使命なのだから。深夜ラジオでは、ちよつと名の知れたハガキ職人、ラジオネーム・ガルウイング骨折として、全国のラジオリスナーにその名を轟かせている。そんな高木が東京のハガキ職人たちと対決することに。運命の歯車が狂い出す。解説に、社会学者・古市憲寿さん。

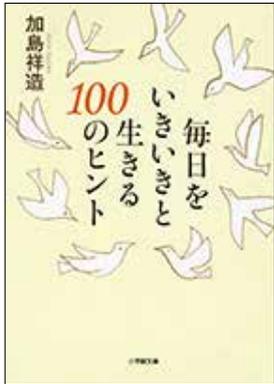
「この子はわたしたちの子よ」品川のタワーマンションからレールガン・テロを試みていた妻・沙織から、通島武志は、千秋に関しての思いも寄らぬ話を聞いてしまう。その後、レールガンの発射を身を挺して止めたことで都内の病院に極秘搬送されたいた千秋だったが、ある日、忽然と姿を消してしまった。沙織がポリスに深く関わっていることが拭きたい事実となったことを受けて、武志は一度空中分解しようになっていた未犯調査室の面々と共に彼女のルーツを辿り直す事を決意する。行方を眩ませた千秋は? そして、ポリスとは何だったのか? 3部作完結篇。

四十数年前、赤坂に「乃なみ」という旅館があった。夜な夜なメンバーが集まり、始まるのは、麻雀、花札、カード。だが中心は座談の楽しさにあった。吉行淳之介さん曰く、「ま、気取って言えばサロンのようなものですね」。高名な作家・俳優・芸術家たちの中に、ある日、まだ二十代の青年が加わった。今は亡き、個性溢れる人々との交遊を生き生きと描いた超面白エッセイ集。主役は九人。吉行淳之介・阿佐田哲也・尾上辰之助(初代)・芹田伸介・園山俊二・柴田錬三郎・秋山庄太郎・近藤啓太郎・生島治郎、ほかに脇役たちも多士済済。交遊録の名品、初の文庫化。

小学館文庫

毎日いきいきと生きる
100のヒント
加島祥造・著

50万部超のベストセラー『求めない』、『受いれる』など多数の著書を通して、現代社会であえぐ私たちに優しく語りかけてくれた加島祥造さん。晩年は自然を愛し、伊那谷で暮らしますが、生まれは東京、落語を愛する下町っ子。そんな加島さんの講演会は、いつも笑いが溢れ、親しみのある雰囲気にも包まれていました。本書は、数多くの講演会から100の名言、名フレーズをセレクト、文章では出合えない本音の語りが飛び出します。失敗や不幸を喜びや発見に変えていく、知恵と勇気の言葉が詰まった、枕元に置きたい珠玉の金言集です。



◆加島祥造(かじま しょうぞう)
1923年、東京生まれ。信州大、横浜国大、青山学院短大などでアメリカ文学を教え翻訳書多数。「老子」の現代自由詩訳も手がける。詩集『求めない』が50万部の大ヒット。2015年逝去。

5月9日発売
定価: 本体620円+税
文庫/320ページ
ISBN978-4-09-406159-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406159>

小学館文庫

十津川警部
犯人は京阪宇治線に乗った
西村京太郎・著

同様の谷村有子と意西信は、売れない役者同士。ある日有子は偶然、人気女優の新藤美由紀の運転免許証を拾う。新藤の本名が「谷村侑子」だったのを見て、免許中の谷村はその免許証で運転し警察に捕まってしまうが、新藤の計らいで、罪に問われることもなく済んだ。プロデューサーの推薦で、谷村と葛西に夫婦役での連続ドラマ出演が決まって、二人は口ケ地に向かった。しかし、撮影初日に有子とドラマスタッフが行方不明となり、死体で発見されたのだ。そして、東京では国務大臣の白石幸次郎が爆殺される。そして、さらなる被害者が!



◆西村京太郎(にしむら きょうたろう)
1930年、東京生まれ。78年にトラベルミステリーの先駆となる寝台特急殺人事件を発表。81年『終着駅殺人事件』で日本推理作家協会賞を受賞。2012年に著作500冊突破。

5月9日発売
定価: 本体570円+税
文庫/248ページ
ISBN978-4-09-406160-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406160>

小学館文庫

書くインタビュー3
佐藤正午・著

僕はなにもお金欲しさに小説書いているんじゃないぞっ!
いやいやいや。待って待って。ほえ。まじか?
——20年ぶりに長編小説の書き下ろしを始めた作家。連載ではなく、「書いても書いても原稿料を貰えない」現場では、自身の台所事情とは別に、「小説を書くこと」について、いろいろと思うところも。
最新作『月の満ち欠け』の執筆開始から第一稿完成までとまったく同じ時期、小説名人・佐藤正午が語っていた、「小説を書くこと」についてのすべて。



◆佐藤正午(さとう しょうご)
1955年、長崎県生まれ。83年『永遠の12』(小学館文庫所収)で第1回すばる文学賞を受賞。2015年『鳩の撃退法』で第6回山田風太郎賞を受賞。「Y」ジャンプ二身の上話など著書多数。

5月9日発売
定価: 本体600円+税
文庫/288ページ
ISBN978-4-09-406256-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406256>

小学館文庫

長谷川平蔵人足寄場
平之助事件帖2 決意
千野隆司・著

一人逃げ延びたものの、弟や情婦を処刑された盗賊鉦七は、平之助や人足寄場に入った突助の復讐を誓った。その頃、江戸の町を嵐が襲った。土囊を積み準備したが、人足寄場は高潮と強風で甚大な被害を被った。三日間の解き放ちで一部の人は命を賭けて船で江戸に戻ったが、突助は生き残る。平之助は長谷川平蔵の意見に従い、寄場復興のための資金集めに奔走する。トミの避難先を尋ねて行った突助だったが何者かに刺され、そしてトミがさらわれた。平之助はトミを救い、今度こそ鉦七を捕らえようとするのだが。絶対調のシリーズ第2弾!



◆千野隆司(ちの たかし)
1951年、東京生まれ。國學院大文学部卒。90年、『夜の道行』で小説推理新人賞を受賞し、選考委員から「第一の藤沢周平」と絶賛される。時代小説シリーズを精力的に執筆中。

5月9日発売
定価: 本体610円+税
文庫/304ページ
ISBN978-4-09-406257-1

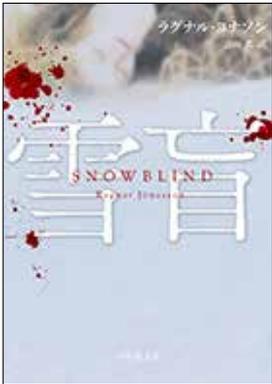
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406257>

小学館文庫

雪盲 SNOWBLIND

ラグナル・ヨナソン・著
吉田薫・訳

亡き北欧ミステリの帝王ヘニング・マンケルのエージェントが仕掛けた超大型新人、ラグナル・ヨナソンの「ダーク・アイスランド・クライムシリーズ」第1弾！ 新米警官アリソンウルの赴任先は、アイスランド北端の小さな町・シングルフィヨルズル。「ここらじゃどうせ何も起きない」と、着任早々上司は言った。だが二か月後、町の劇場で老作家の死体が発見される。上司は事故で処理しようとするが、アリソンウルは他殺を疑う。さらに雪の中で半裸の女性が瀕死の状態で見えられて……。町の外へ通じる唯一の道は雪崩で塞がっている。犯人は町の中にいる！



◆ラグナル・ヨナソン
アイスランドの首都レイキャヴィーク在住。弁護士。ニユースキャスターの傍ら執筆。
◆吉田薫（よしだ かおる）
翻訳家。北欧ミステリの大人気シリーズ「特捜部Q」の翻訳で有名。

5月9日発売
定価：本体800円＋税
文庫／384ページ
ISBN978-4-09-406309-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406309>

小学館文庫プレジデントセレクト

日本の隠れた優秀校

藤原智美・著

現代の学校は、かつての「個性」「自発性」という言葉が影にひっこみ、「和」や「まとまり」という集団主義的な言葉が表を飾っているように感じます。しかし、ここで紹介している学校は子供たちが積極的に、嬉々として学んでいます。現代の子供たちに最も欠けているのは、喜んで学ぶという力です。辞書引き、小説創作、音読・暗唱、そろばん、右脳開発、コミュニケーションスキル、中国語等々……。さまざまなメソッドを駆使してユニークで新しい教育に挑戦している学校は、取材時はエッジ・先端に位置していましたが、今もトップを走っているのです。



◆藤原智美（ふじわら ともみ）
1955年、福岡県生まれ。フリーランスのライターを経て、90年に『王を撃て』で小説家デビュー。『運転士』で第107回芥川賞受賞。ドキュメンタリー作品『住まいと家族関係を考察した3家をつくる』という作品はベストセラーに。

5月9日発売
定価：本体680円＋税
文庫／224ページ
ISBN978-4-09-470016-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09470016>

小学館文庫プレジデントセレクト

立川談志を聴け

山本益博・著

昭和五十年代、料理評論家以前に落語評論家として活躍していた著者は、談志の「文七元結」に衝撃を受ける。金をやるうかやるまいか逡巡する長兵衛に江戸っぽさを超えた人間そのものの姿を見たからだ。その驚きを当時連載の朝日新聞「寄席だより」に書いたことがきっかけで談志と会う機会を得た。「談志師匠は（中略）楽屋で畳に座っていた。僕が立つて入っていくと、畳に頭をすりつけるようにしてお辞儀をしたんです。僕は、それでいっぺんに好きになってしまいました。こんなにお辞儀の丁寧な落語家がいるのかと思って」。談志をこよなく愛してきた著者が語る天才噺家の凄さと魅力。



◆山本益博（やまもと ますひろ）
1948年4月11日、東京都生まれ。早稲田大学第二文学部演劇学科卒業。卒論「桂文楽の世界」がそのまま出版され評論家となる。「名人芸の黄金時代」など演芸、料理に関する著書多数。

5月9日発売
定価：本体680円＋税
文庫／216ページ
ISBN978-4-09-470017-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09470017>

小学館文庫プレジデントセレクト

築地めし

魚河岸のプロが教える簡単でウマイ魚料理
福地亨子・著

魚のすべてを知り尽くした築地の仲卸が、自宅で作っているおかずは、簡単で旨いものばかり。月刊誌「dancyle」の人気連載をまとめた厳選レシピとエッセイ集がついに文庫化。
夏●アジの焼き南蛮、カリカリジャコ豆腐……。秋●イワシの蒲焼き、スダチ薫るスルメのワタ和え……。冬●黄身醤油をまとった官能のヅケ東井、キンメとゴボウのあら煮……。春●ワカメとジャコのヘルシー炒め、ホタルイカのパン粉揚げ……。
四季折々の築地を描いた、旬な、河岸ばなしも収録。旬の話がわかって魚料理の達人にもなれる一冊。



◆福地亨子（ふくち けいこ）
宮崎県生まれ。編集者を経てフリーランスに。1998年、築地の水産仲卸「濱長」のチラシづくりを頼まれたことをきっかけに同店で働き始める。著書に『あいつ、築地の河岸』など。

5月9日発売
定価：本体700円＋税
文庫／208ページ
ISBN978-4-09-470018-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09470018>